

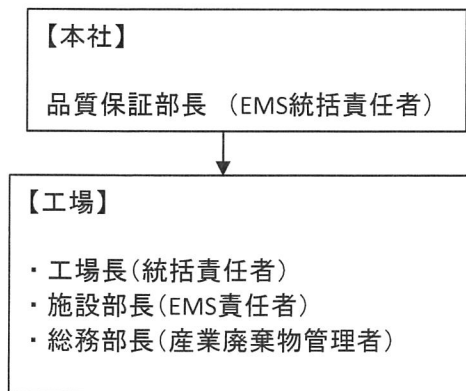
（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 8 年 6 月 29 日	
岩手県知事 達増 拓也 殿	
提出者 施設部 林 健一	
住 所 岩手県岩手郡雫石町丸谷地36-1	
氏 名 小岩井乳業株式会社 小岩井工場 工場長 杉田 忠彦	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 019-692-1211	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	小岩井乳業(株)小岩井工場
事業場の所在地	岩手県岩手郡雫石町丸谷地36-1
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	09 食料品製造業
② 事業の規模	処理乳量 36,457 t
③ 従業員数	96名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	①廃酸、動植物性残渣→委託処理（メタン発酵処理）→肥料化 ②汚泥→自己中間処理（脱水）→自己中間処理残さ→委託処理（メタン発酵処理）→肥料化 ③廃油→委託処理（中間処理）→再生重油化 ④廃プラスチック類 （牛乳パック）→委託処理（破碎、圧縮固化（RPF固形燃料化）） （その他）→委託処理（破碎、焼却）→原料リサイクル化 ⑤ガラスくず、金属くず類 他→委託処理（破碎、焼却）→原料リサイクル化

（A4）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） ・2012年に脱水機を更新し、含水率改善を図った。 ・製造工程でのトラブル低減により、廃棄量の削減を図った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） ・汚泥低濃度化による運転管理を継続実施し、汚泥量削減を図る。 ・製造工程でのトラブル低減の継続と自動化対応により、廃棄量の削減を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・分別を徹底し、有価物として処分している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・金属とプラスチック類等の混合物分別を進め、有価物での処分を行う。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） ・汚泥低濃度化により対前年より13.2%削減出来ている。（令和6年度504 t⇒令和7年度437 t）継続した低濃度管理を実施し、汚泥廃棄量の削減を図る。 目標：416 t（令和7年度437 tの5%削減）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） ・汚泥は自社で脱水処理し、その後委託処理している。 ・委託先では、最終的に肥料化再生されている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 中長期検討として、脱水機更新を立案し含水率低下を図る。 ・ 含水率低下へ向けて脱水機凝集方法の検討を進める。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】

			産業廃棄物の種類 ※量の単位はt(トン)					合計(t)
			・廃酸 ・動植物性 残渣	汚泥	廃油	廃プラス チック類	・ガラス くず ・金属くず 類 他	
産業廃棄物の排出の 抑制に関する事項	排出量	現状	195	3,280	0.5	11	1	3,487
		計画	185	3,123	0.4	10	1	3,320
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		現状						0
		計画						0
自ら行う産業廃棄物 の中間処理に関する 事項	自ら熱回収を行った産業 廃棄物の量	現状						0
		計画						0
	自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	現状		2,842				2,842
		計画		2,707				2,707
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入 処分に関する事項		現状						0
		計画						0
産業廃棄物の処理の 委託に関する事項	全処理委託量	現状	195	437	0.5	11	1	645
		計画	185	416	0.4	10	1	613
	優良認定処理業者への処 理委託量	現状				11	1	12
		計画				10	1	11
	再生利用業者への処理委 託量	現状	195	437	0.5	11	1	645
		計画	185	416	0.4	10	1	613
	認定熱回収業者への処理 委託量	現状						0
		計画						0
	定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	現状						0
		計画						0